光

第二十五輯

大正十二年七月

◇無相の懺悔……西田天香

◇奉仕の根本義……中桐確太郎

◇宣光社に關する若干の考察……伊藤猛

◇よろづのものみなもさは一……松下吉衞

◇光明へ……八田勝三

同人懺悔報恩の奉仕者

祈願不二の光明によれる生活

費用供養されたる淨財

◇一燈園對同人……中澤貞次

◇神戸より……S生

◇近詠……木暮侶乘

◇碎かれた繪硝子……すゞき五ろう

◇宣光社より……野原生

一燈園・宣光社

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

一燈園 西田天香著

◆

定價貳圓廿錢
書留料拾八錢

四六版黒布
表裝四百頁

新刊

托鉢行願

苦惱に滿てる人生混沌として闇き社會を救はんがため二十年の星霜を懺悔奉仕の托鉢に送りたる天香師が虔しやかに世に贈るこの尊き我等の福音書を見よ

師の日常生活は、人の家に入りて下駄を揃へ庭を掃き便所を潔め納屋を整理する、一見殊更に奇異を裝ふ如く見ゆれど、然らず、一切の我執に放れ心欲を擲ち、不二の光明によつて復活新生する。世間一切の罪惡何人がその責を脱るゝを得べきとして、懺悔の心からなる十字街頭の奉仕をする。一燈園に心の庵を結ぶと雖も別に一宗を立てるにあらず單に一宗に偏るにあらず古今聖者の光を仰ぎ德を頌し、その遺されたる事業――人間苦世界苦救濟の願を成就せんとするものである。この祈願に卽した實生活――もたず、うらずして人天のくやうに生きる天香師の全姿態は本書の殘らず盡す所である。

相馬御風著

大愚良寛

越後の隱聖良寛和尙の人格と藝術はその沒後百年に近き今日突如として異常の光輝を認められた著者は良寛硏究者の第一人者として識者に知らる。

定價二圓七十錢
書留送料十八錢

東京日本橋通
振替一六一七

春陽堂

電話本局五一
四二一〇

光

第二十五輯

大正十二年七月

◇無相の懺悔……西田天香
◇奉仕の根本義……中桐確太郎
◇宣光社に關する若干の考察……伊藤猛
◇よろづのものみなもさは一……松下吉衞
◇光明へ……八田勝三

同人懺悔報恩の奉仕者
祈願不二の光明によれる生活
費用供養されたる淨財

◇一燈園對同人……中澤貞次
◇神戸より……S生
◇近詠……木暮侶乘
◇碎かれた繪硝子……すゞき五ろう
◇宣光社より……野原生

一燈園・宣光社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

謹告

一、本誌の殘本第三號以下全部、多少づゝありますから御希望の方は、御申越し下さい。

一、讀者諸兄姉が御住所變更の際は、新舊とも御連記の上、一寸御通知お願ひします。

一、集金郵便は郵便局に極く遠い方の外は、他に餘儀ない事情のない限り、成る可く御避け願ひ度う御座います。しかし集金郵便御希望の方には規則改正の爲一ヶ年分の誌代を戴かして貰ひますから豫め御承諾を御願ひ申します。

一、御送金は成る可く振替を御使ひ下さいませ。又普通爲替の場合は書留にして戴き度う御座います。

一、御前納下さつた誌代が切れた時には封皮に其旨記載し其後も二三ヶ月間は御送りいたして居りますが、猶御送金の無い場合には、整理上甚だ勝手がましくありますが一ヶ年分の集金郵便を差上げる事にいたしてをりますからこれ亦豫め御許しを乞ふて置きます。

一、御住所不明で戻つてまゐります雜誌は再送せず、そのまゝにしてありますから月々御受取なさらぬ方は御一報下さい。

一、購讀御中止の方は恐れ入りますが、必らず御一報下さい。

一、本誌は現在四千部刷つて居ます。基礎を堅める爲に、許されるなら、あと千名の讀者諸兄姉を惠まれたいのです。若し本誌のやうなものでも幾分御役に立つと思召しの方はどうぞ御知合に御紹介下さるやうお願ひ申上げます。

一、御不便な地方の方には、書籍其他購入の便宜をおはかり致しますから御遠慮なく御申越し下さい。

一、全國各地に於ける『光の友』の機關誌として、本誌を御使ひ願はうと存じますので、どうぞ御動靜を左記に御通知煩はし度う御座います。（東京市上戸塚五八〇玄光社内松下吉衛宛）

本誌發賣所

京都市柳馬場三條下ル

宣光社

振替大阪五九八三九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

無相の懺悔

西田天香

東京の或家から托鉢をたのまれた。一人の婦人がいつた。二三日すると手紙がきた。

『こんどのお家はどうやら妾では御奉公が出來そうにもありませぬ、けれどもひれふして辛抱させてもらひます、御祈添へ下さいませ』とあつた。

このやうな手紙をこの婦人からくした事は今迄にはない、どのやうなつらゐお家か、兎にも角にも光まかせ、私は私の事を一生懸命にやつていた。

ほど經て、私は東京へいつた、どのやうにしていられるかと心配して會ふて見たら、不思議なほど喜ばしゐ顔をして『ほんとに難有いことでした、大そうお家でよろこんで下されます、一時はどうしたらよいのかとおもひましたが、人の考へは淺墓なものです、何事も光のはからひでした、ありがたう』とであつたに二度びつくりをした始末。

どうせ話しは少しはき丶ちがへたかはしらないけれど、あらかたのすじは次のやうである。

托鉢をしたお家の主人は二十五六の歳で、大の法華ごりの方である、尤眞面目に研究されて、其血氣な勢ひで、所謂攝取拆伏ともに猛烈に祈られている。勿論あふて直接話しを聞かないけれども、生一本に信行をはげまれていることは想像が出來る。得てしてこふした潮あひのときは熱狂的な體度も時にはあろうけれど、此位の勢でなければ何事も中心に突込めない。自分の經驗から考へても、私は見ずに前途のたのもしい性格の人とおもはれる。

八百屋がきても法華をすゝめ、肴屋にも御身は法華でないかと尋ねられる、法華でありませぬとでも云わふならその日の肴は買ふていたゞけぬといふ鹽梅式。女中さんも南無妙法蓮華經をとなへねばならぬ、でなければかいれといわれる。

私はこの位の形容で全般は伺はれることゝおもふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家の奥さんは女中のつゞかぬのに困られる、色々の事情もあろうが、法華を强いられることも困る一つであるかも知れぬ、それが園の人の托鉢を要求された因縁であつた。ゆくりなり頼まれたことは『どうか法華といふておいてくれ、一燈園の人ぢやといわずにおいて下さるやうに』とであつたそうである。うそをつかねばならぬこと、一燈園といふことを秘してまで托鉢をせねばならぬ事が『こんどのお家はどうやら妾では御奉公が出來そうにもありませぬ』云々との手紙となつてきたのである。

主人は知つてか知ちずにか、婦人に法華であるかないかときかれるそうである、角のたゝぬやうに『ハイそうです』位でいたものか、どうせウソのことであれば、返事もサヘ々々はせなかつたにちがひない、翌日は『お前は一燈園のものだろう』と星をさゝれて一度は『いゝへ』と答へたが、『そうに違ひあるまい、はつきり聞かう』といわれては、もと〳〵どこまでも眞赤なウソのつけやう道理もなし、正直に『ハイそうです』と答へたそうだ。すると非常な熱心な態度で一燈園を罵倒し天香を嘲拆し、座に耐へられぬ程の勢ひで所謂破邪顯正をしたそうである。

園の托鉢者もさすがに、己れの屬する集團とその力とたのむ先達の人を完膚なきやうにまで罵られては、そのまゝ托鉢するも落付かぬとおもふたために、『ではおいとまたまわりたし』といふたそうな。『ひまとつて何處へゆくか』『ハイ當番さんに相談するひまもありませぬからとりあへず路頭へ出ます』すると主人はさすがに親切に、『そんな極端な事をしてはよくない』と止められる。こんな事で二三日もたつ中に托鉢の婦人は病氣になつた、心ならずも休ませてもらふと、主人はまた丁寧に醫者よ藥よと世話しなさる。難有いやうでもあれどどこかに落付かぬとおもふていると、その親切も法華經よりくる事なれば、法華經を信ずるが當然でないか、といふ調子で親切にせめられる。あらゆる機會に宣傳せんとされる時に、そのきもちは諒としても、このまゝ病氣療養していても何處かに無理がありまた一つには一燈園の名にもかゝわると思ひをきめて、或る日まだ病ひも癒りきらぬに、夜の九時頃おひまをもろうて出やうとすると。『何處へゆくか』『十字街頭へ』『無理をしては病氣にさわる、そのやうな事をせぬやうに』と引とめられて、すぐにその人の先生である人に電話で相談されたそうな。先生がおこしになつて托鉢の婦人より一部始終をきかれた上で、丁寧なお言葉で『それはまことに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

御苦勞樣、そうした態度こそまことの法華經の能[illegible]珍らしい奇特なことで』と、こんどは主人とは全く反對に一燈園と天香とに同情共鳴の挨拶があり、[illegible]批評せぬやうにと一燈園生活と法華經との異曲同調であることを懇々說示されたことである。此一場の實話はまだ〳〵ねんごろなものであるけれども茲には只極めてその大體だけを書いて、この事によつての所感を述べたいとおもふ。

自分は一燈園生活と法華經とが一つか二つかそれも悉しくは知らないし、またその經說を外から文字より讀み調べてゆく餘暇をもたぬ。たゞに法華經のみでなく眞宗禪宗皆然り基督敎も天理敎も金光敎も同じことである。けれども一つ難有いことは此生活を如法にするときあらゆる莊嚴が皆此うちから生れてくる事です。『何ものもない、からすべてがある』一燈園がもしか何々敎とか色づゐてあつたら、堅い法華といふは容易に共鳴はせぬ。何處へも歸る處がないけれどもそこを落付けぬとおもふときに、脚下に十字街頭へとたつ事の出來るのは强い力である。何物をも執着せずに直ちに路頭にたてる身は、全く光の擁護を證明したものである。一纖弱なる婦人の身のしかも一言の說法もなさず議論も試みず、念佛一つ題目一つもとなへずに、しかも能くあらゆる宗敎の眞髓を得た人と一致するのは生活が新らしく纒縛を脫して、しかも如法であるからである。如此にして實業家へも敎育家へもまた各種の宗敎へもゆきたい。是は少しもてらうのでなく、宣傳めくのでもなく、只一意自分の無相の懺悔である。思想及信仰に於て少しもはたらきかけぬ處に强い力が何處よりかわいてくる。これなくて宗敎はない、たとへ如何なる名論卓說と長廣舌獅子吼あつても潜行密用を缺いてはならぬ。園は先づ脚下の生活をとゝのへたい、愚の如く魯の如くに行ひたい。行でつき破り堀りぬき盡きぬ光の泉にぶちあてたい。かくして後何なりとも兼修したい。さればさわりがないかと思ふ。

こんな事をしていて時代後れの人となりはせぬかと思ふ人もあろう、けれども私は眞劍にやれば何ものにも後れはとらぬと信ずるものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

奉仕の意義

中桐確太郎

左は私の『懺悔奉仕』論の一節であります。首尾調はぬことは御わび致します。

此世の實相は此儘天國淨土でありませう。併し現在の世相は、娑婆であり、憂き世であり、涙の谷であります。此の衆苦の世界を天國淨土に致したいこいふのが、萬人至心の切望であり、また此世の諸々の活動、大抵それに向ひて努力しつゝあるものであることは申すまでもありますまい。然らば天國淨土とは何でありませうか。宗教的の莊嚴を取り去つて、その骨格を申せば、要するに、愛の基礎の上に立てられたる自由（天賦の性能を活動發展せしめて、諸種の要求を滿足せしむるの自由）の國土であるこ思ひます。故に、此世に天國淨土を開顯するの基礎事業は此の世に愛を惹き起すことでありませう。然らば此の愛を惹起すの道は何でありませう。その最も順なるものは即ち奉仕であるこ私は思ふのであります。此のことにつきて少しく述べさせていたゞきます。

愛こはたび／＼申しました通り、自他本來一體たることを悟る所から生ずるものであります。そして之を悟らしむるの機縁は千種萬樣でありますが、その中、最も純粹にして根元的なるものは、愛の具體的なる行ひでありませう。蓋し『愛よく愛を生む』。如何なる頑なる堅殼も愛の熱には遂にはとかさるゝを常とすることは絮說するまでもありますまい。そして愛の行ひの現はれも順縁逆縁いろ／＼であるが、順縁こ申すべき自然的なる現はれは、自己を犧牲にしてその愛する者のために盡すこいふことにあることは、親がその子に對する愛の純眞なる姿に明かに示されてあります。然るにその對者の要求を滿足せしむるために獻身的努力をなすのは、是れ即ち奉仕に外なりません。世を憂ひ人を愛せらるゝ志士仁人が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

その奉仕の業に盡瘁せらるゝのはまことに、自然のあらはれであります。而してこの愛より出でたる奉仕こそ愛を惹き起す所の最も純なる機緣であること思ひます。

かく申しまするならば人或は申さるゝでありませう。親のその子に對する愛の活らきは自然の發露であり、志士仁人の奉仕の業も世の衰頽、人の疾苦、座視するに忍びず、止むに止まれぬものがあつて、奮起せられたものである。これ等はいづれもその子の要求を滿足せしめ、人の惱みを救はんとすることそのことが目的であつて、それによりて對者の愛を惹き起さんとするが如きを目的としてをるのではない。愛を此世に惹き起さんことを目的として奉仕する如きは作僞に過ぎ、人巧に墮せるものであつて、眞實味を缺いてをると謂ふべきであると。

如何にもその通りでありまして、內に滿ちたる愛が何の障碍もなく溢れ出で、自然法爾に任運自在に、行雲流水の如くに行ふことが出來るならば、申分はありませんが、併しながら、愛が衷に動きましてもそのまゝに活動することが出來ずまた何等顧慮することなしに僞し得ても、行ひてのち反省せざるを得ざる程度にある我等に於ては、何等の反省なしに行ふといふことは、自からを欺瞞することになると思ひます。

よく『自然に從へ、本能の儘に』と申さるゝ方もありますが實は何が本當の自然であり、本能であるかといふことからしてが、問題であると思ひます。自然なりと思ひ、本能なりと考へてをるものゝうちには、實は不自然化せられた性能が遺傳によりて潛伏し、環境によりて攪亂せられて來るものゝなきを保しません。獨逸のある地方の慈善會の役員が貧民窟を巡視いたしました時に、一嬰兒の瘦せこけて、骨と皮とになりをりしを發見し、それを引き取りて保護を與へ、先づ之に牛乳を與へましたが、きらつて飮まうとしませんでした。そこでその兩親にその由を糾しますと、平生ブランデーを與へてをつたといふことでしたので、役員も驚き怪しみつゝも、ブランデーを與へて見ました所が、その嬰兒は喜んでピチャピチャと之を吸うたといふことであります。如何にも驚くべきことでありますが、しかし嬰兒にとりての現實の要求は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

牛乳ではなくて、ブランデーであつたのであります。單に現實の要求を標準とする所から見ますれば、ブランデーを吸ふことを以て、自然の性とせねばならぬこと丶なります。尤も、此の如きは極端なる場合であつて、その身體に及ほす悪結果が顯著であります上に、また甚だ稀有の例でありますが故にブランデーを好む如きは自然の性でないといふことが明かに分りますが、もし悪結果が容易に明かならず、またその例が決して稀有でもないといふやうなる場合には、何れを本當の要求とすべきか、その判斷は容易なことでないと思ひます。兒童學によりますと、嬰兒の哭くにつきては、いろ〳〵の原因があつて、或は寒くても泣き、痛くてもなき、或はさびしくてもなくので、必ずしも飢じくてのみなくのではないのだそうであります。然るに哭かる丶ことのうるさ丶に、飢もじからざるに乳を與へたと致します。嬰兒は乳の甘さに誘はれて、飢もじからざるに係らず、之を飮むでありませう。此の如く、哭きさへすれば、いつも乳を與へらる丶といふことの度重なりますれば、こ丶に不必要なるものをも嗜むの習慣がつき、心には貪欲を釀し、體には悪癖を養ふに至るのでありませう。遺傳に關することは今姑らく略することと丶いたしましても、我等の不注意と不行屆との結果、識らず〳〵の間に本當の自然を曲げ、眞との本能を損ひつ丶あることは、決して尠くもなく、稀らしくもないと思ひます。か丶る環境の間に養成せられつ丶あるものであつて見ますれば、自然と思ひ、本能と考へるもの丶確實性は隨分疑はねばならぬ筈であります。疑はずして、慢然として現在の要求の儘に從ふのは、これ知らざるを知らずとせざる一種の自己欺瞞に外なりますまい。吾等の知能はもとより不完全ではありますが、疑ふべきは疑ひ、究むべきは究め、以て出來るだけの反省の誠を盡さねばならぬと思ひます。

思ふに如何なる人といへども、愛を心に藏せぬといふことはありますまい。愛、衷に動き、外にあらはる丶時、奉仕の形を取るを自然とします。然しながら愛、衷に動きましても、それがそのま丶外に現はし得ることは必ずしも限りません。寧ろ多くの場合に於ては、何等かの障碍によりて、愛が自由にはたらかぬを我等凡夫の常とします。反省は乃ちこ丶には

たらきます。抑も愛とは何であるか、己れを犧牲にして他の要求に獻ぐる奉仕の如きもの、何が故に存するかと。之に對する反省の結果は人によりて種々に異なるのであります。愛に關しての私の答へは、本誌に於て、前にもたび〳〵申しましたが、今更に略して申しますれば、『自他本來一體たることを、何等かの機緣によりて悟る所から生ずるものであつて、その根本は萬有本來一體たる靈的事實にあるのである』といふことになります。然らば奉仕なるものが愛の自然の現はれとして、はたらく所以は、何處にあるのでありませうか、之につきての私の答へは次ぎの通りであります。

奉仕とは先きにも申しました通り、自我個身の要求を犧牲にして、他の要求を滿足せしむることに努力することでありますから、奉仕するものと、その奉仕を受くる者との二つに別けて見ることが出來ます。先づ奉仕を受くるもの〻方から見ることゝ致しませう。抑も自と他との差別に伴ふ執着は各々自我の要求を、他に對抗して主張する所から來るものであります。もし自分からして（即ち餘儀なくせらるゝことなく、もしくは强ひらるゝことなしに）、自我の要求を主張せざる態度に出で來られます時は、直接の對抗者は申すまでもなく、對抗者ならざるもの（其實間接の對抗者）も、その執着の依て來る根源を少くも一時は、取去らるゝことになるのであります。一時にても執着の根を斷ち切られます時、微かながらも一種の靈的體驗の光に接することを得るものであります。これと同時に、その奉仕を受くることによりて、自我個身の要求が、とにかく滿足せしめらるゝ處からして、有限たるの罣礙を一時は解脫することを得るのみでなく、奉仕者が自分のために盡してくれらるゝ努力によりて、奉仕者と一體たることを經驗するものであります。此の如くにして奉仕を受くる者は、個我の要求を滿足せしめられつゝ、よき心地の中に執迷の根源を取り去ることを得るので、謂はゞ地的の滿足をなしつゝ天的の福ひを味ふことゝなるのであります。

もし亦、之を奉仕をなすもの〻上から見ますと、自身の個我の要求を自から進んで犧牲にすることによりて、狹隘なる自我の障礙は取り去られ、その障壁は破れ、萬有と一如たるの體驗を暫時なりとも、味はふことを得ると同時に、他の要求を滿足せしむることによりて、その他者と一體たるの經驗を具體的に味はふことを得るのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

勿論、自身の要求を犧牲に供して、他のために努力するといふ奉仕は、個我の身神に伴ふ種々の不完全からして、純眞に行ふことは容易でないのを常といたします。併しながら奉仕の念は、萬有一體を根據とする要求でありますので、之が實現を强要し來り、奉仕は乃ち一つの道德的要求となるのであります。道德的要求即ち義務として、奉仕に從ふ時多少不自然の趣きがあるのでありますが、その要求を滿足せしめ得たる時、世に所謂る良心の平安と稱する聖悅を感ずるは、何人も經驗する所でありませう。

奉仕を一つの義務として努力する時、自己の作爲なることといふまでもありませんが、その奉仕をなし得たることによりて感ずる聖悅は、それが自分の爲めより出でたるものでなく、萬有一體に根據を有する愛の要求を滿たしつゝあるものなることを示してをるのであります。その努力は愛の要求が、實現せんとするもがきに外ならぬものといふべきでありませう。

總じて純眞なる奉仕は、他人の要求に應じてのみあらはるゝものでありまして、他人の要求の存せざる時、奉仕は存することを得ません。譬へば他人の要求といふ光に照らされて現はれたる自分の影法師の如きものであり、また呼ぶ人の聲に應じて答ふる、山彦の如きものであります。奉仕そのものには何の自體もないといふことが出來ませう。何の自體もなきものであつて、而かもなほ、緣に應じてあらはれ、之を行ふものにも、之を受くるものにも、共に此世ならぬ祝福を與へ、等しく自他一體の靈的經驗を味得せしむることを得るもの、是れ即ち奉仕であります。

要するに奉仕は、萬有一體の事實が具體化せんとするために現はるゝ所のものであつて、愛を此世に成ぜんとする自然法爾の妙用であると申すべきでありませう。蓋し自然法爾は靈的體驗でありまして、凡夫として此の體驗を身神に現はしゆく時、奉仕となるのであると思ひます。行雲流水の如く自分の作爲を用ひずして、奉仕することを得ば此上なきことであります。しかしながら意識し、反省して之に努力するとも自然法爾の妙用に參するの點に於ては一つであると思ひます。隨ひてまた奉仕は、事の大小に必ずしも關係あるものではありますまい。純眞なる奉仕でありますれば、貧者の一燈も、冷水の一杯も、法界倶成の念願に連りて、永しへに消えざる法の燈火ともなり、とはに涸るゝことなき生命の川ともなるものであると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宣光社に關する若干の考察

伊藤猛

はしがき

先に「宣光社の概要」（光第二號）に於て、宣光社の紹介を試みたるも、考察未熟、叙述亦粗雜なりし爲め、其半面を傳ふるに過ぎず、讀者を誤りたる點尠なからざるを認む。爾來此研究に志すと雖、性愚昧にして何等進展を認め得ざるを悲む。されど、近く宣光社事業の具體化に着手せんとするに際し、宣光社の概念を一層明確にし置くの必要を感じたるを以て、敢て此稿を起し、同人諸兄の批正を仰がんとす。先きに發表せる「宣光社の概要」の補遺たるべく、又近く投稿すべき「宣光社產業經濟經營論」の序論とも見る事を得べし。

宣光社の意義

光明祈願の一節に曰く、「天華香洞に立ち、信託を受けたる財物事業の整理經營に從ふを、假りに名けて宣光社と云ふ。目的は世間の執迷紛爭葛藤を根絕し、以て齊家治國平天下を期するにあり」と。之によれば宣光社とは、不二の光明により復活新生したる個人又其集團が、懺悔奉仕の祈りを持ち、信託されたる治生產業に從事し、之に即して眞道を行ずるを總稱したるものと解するを得べし。斯くの如く、宣光社とは、財物又事業に對する、同人又は其集團の經營整理の態度を總稱したるものなれば、其形相多種多樣にして、容易に其眞相を捕捉し難きは、蓋し止むを得ざる所なるべし。

以下宣光社事業經營整理の主體が個人なる場合と、集團なる場合とに分ちて、少しく說明を試みん。

第一、事業の經營主體が個人なる場合。

不二の光明によりて復活新生し、そのもてる凡てを光に還へし、神に委ね佛に養はれ、他に障りなき自然法爾の生活をなす人が、光個人又團體より隨喜信託されたる財物事業に對し、其預り主となり、官公吏民吏（民間の事業に從事する精神勞務者を假りにかく名づく）となり、或は勞働者となり、世間の生活に順應しつゝ、その中に不二の光明に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

よれる眞生活を成就せんと試みるは宣光社の一つなり。其携はる所の事業財物は千差萬別、淨まれるあり、淨まらざるあるべしと雖、宣光社人は、財寶知識才能其他もてるもの、凡てを光よりの預りものとし、常に懺悔報恩の念を持し、信託されたる財物を管理し、事業を整理經營し、或はそれに作務し、之に即して眞道を行ぜば足れり。元より才乏しく德足らず懈怠がちにて、世の我執に染み易き身なれば、之を如實に實現するは困難なれども、常に此祈願に參じて奉仕の誠を致さんことを努むるにあり。

宣光社は世間普通の生活に順應して眞道を行ずるを目的とするものなれば、必らずしも其生活形式を世間のそれと異にするを要せず。されど修養足らざる我等にとりては、世間普通の給料工賃等に食まずして、供養に生きる事即其作務に從事するは、奉仕を主とするものにして、衣食の爲めのみにするものにあらざるを是認し得る底の形式をとるを安全の策なりと信ず。之新生活者が舊生活への逆轉を防禦する一種の背水の陣なり。其他日々の行持、財の消費等に就て戒相を守るべきは、言を待たずして明かなり。

第二、事業の經營主體が集團なる場合。

光個人團體等より信託されたる財物或は事業の下に、懺悔奉仕の人一人又多人數集りて祈りをさゝぐ。財物或は事業は次第に淨化され、舊來の事業は甦り、或は新たなる事業生れ、其事業自體が、世間一切に對する奉仕の理想をかゝげて進むに到る。之最も複雜なる宣光社なり。かゝる事業に於ては、懺悔奉仕の同人又は其集團を中心とせる一組織體が、財物の管理事業の整理經營の任に當り、其事業に即して眞道を行ず。

一同人が如上の態度にて、信託されたる或事業に作務するは、最も單純なる宣光社なり。同人の集團が一組織體として、責任を持つて、財物事業の整理經營に任ずるは、最も複雜なる宣光社なり。此兩者の間に、幾多の形相を異にする宣光社あり得べし。余はこれらの凡てを總括して、宣光社（廣義の宣光社）と呼ばんとす。最も單純なる宣光社は、或財物事業の一局部に作務するのみ、個人の立場より言へば、信託されたる事業を經營整理すと云ひ得ざるにあらざれども、事業の見地より見るときは、一種の生活態度に過ぎざるの觀あり。中世小商人は勿論、現時の小商工業者に於ても、家計と企業との區劃分明ならざるもの多々あるが如く、宣光社に於ても單純なるものにありては、生活即事業にして、獨立せる所謂事業の形相を認むる能はず。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懺悔奉仕の祈願深かまり、廣まり、事業の要素たる清淨なる資本清淨なる土地を惠まれ、清淨なる奉仕(勞働)と協合すること玆に宣光社事業生る。而してかゝる事業に於て、經營整理の主體が個人たる場合あり、一集團たる場合ありと雖、何れの場合にも、個人の生活より判然分離せる所謂事業の存在を認め得るもの多々あるべし。余は此種の宣光社を特に名けて宣光社事業(狹義の宣光社)と呼ばんとす。廣義の宣光社に就ての主なる研究事項は、同人修身に關することにして、こは宣光社の規範を示せば足れり。速かに其發表を見ん事を切望して止まず。宣光社事業に就ては、其組織經營等に就て、研究すべき事項尠なからず。之今後に於ける我等の研究の主なる題目たるべきなり。

宣光社事業と其分類

余は「宣光社の概要」に於て、宣光社は隨喜信託されたる(天華香洞に立ちて)財貨事業の整理經營に從事する機關なりと云へり。之事業の見地より言へるものにして、宣光社(廣義)の意義としては不充分なるも、宣光社事業(狹義の宣光社)の說明としては必らずしも失當ならざるを信ず。何となれば事業にありては、其經營に任ずるものは、個人又は團體たるを問はず、一つの機關たればなり。

宣光社事業の形相は頗る多樣なるべしと雖、大體に於て左の如く分類する事を得べし。

第一、携はる所の治生產業の種類によりて、宣光社事業も亦宣光社產業政治教育軍事社會事業等幾多の部門に分つ事を得べし、是世間の所謂職業の稱呼に從ふものにして、必らずしも正確なる分類にあらずと雖、其名稱によつて其事業の內容を窺知し得るの利便あり。余が今後研究を發表して同人諸兄の批正を乞はんと欲するは、主として宣光社產業に關するものなり。其他の事業については、同人諸兄の研究發表を切望して止まず。

第二、宣光社事業が其理想を實現せる程度によつて、第一第二、第三の別を設く。第一宣光社事業は、其理想を充分に實現したるものにして、其事業自體が世間一切に對する奉仕を目的として立つものなり。第二は理想を中心として次のものが參加せるものにして、其事業自體が世間一切に對する奉仕を理想とし、半ば其理想を實現せるものなり。第三は世間普通の事業が、宣光社の理想を幾分とり入れたるものなり。此名稱たるや、事業光化程度の段階を示すものにして、第三より第二第一と進むものなり。元より第三より第一に到る間光化の程度千差萬別なれば、正確なる規

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

準を立て難し。以上は只大體の標準を示すに止るのみ。

第三、事業組織の點より、個人組織組合組織の二となすことを得べく、組合組織を更に細別して、匿名組合社團法人財團法人產業組合合名會社合資會社株式會社株式合資會社等となすことを得べし。前者は其事業が表面上、一個人の事業なること、後者は組合事業なることを云ふ。かゝる組織は、宣光社事業必然の要求に出づるものにあらず。現今社會に於て事業を起さんとせば、法制（民法商法產業組合法等）の命ずる所の形式に則らざるを得ず。されば、宣光社は、其事業の性質に應じ、以上列記せるもの、内、尤も適切なる組織を選ぶものとす。

そうかつ

之を要するに、宣光社とは、無所有の生活なる一燈園に對し、假所有の生活を表現せる名稱なる故、種々の形相を包含するを以て、研究上種々の混雜を免れず。されば余は上述の如く、假所有の生活を總括して、宣光社（廣義）と呼び、そのうち所謂事業の形相を備ふるものを抽出して、之を宣光社事業（狹義の宣光社）と名けたり。而して宣光社事業と稱するものにも、教育事業社會事業等幾多の部門ありて、商工農業を包括する所謂產業は、宣光社事業の一部門に過ぎざるを說けり。以上の說明極めて粗雜なりと雖、此趣旨を明瞭にし得たりとせば、本文起稿の目的は達せられたり。（大正一二、五、二二）

◇本輯表紙題字　は、上野三碑とて古來有名な古碑の一、所謂山名村碑文にある天武十年逆算千二百四十二年に建つたのですから、吾國現存の古字で最古の『光』でせう。本文は

辛己歲集井三日記
佐野三家定賜健守命孫黑賣刀自此新川臣兒斯多々彌之兒
孫大兒臣娶生兒長利僧母爲記定文也　放光寺僧

――これは混沌小此木先生から惠まれたものです――

◇第廿四輯表紙題字　は支那青州府大佛像記中よりいたゞく。『此の佛像は今を距る六七年前山東省青州の山中より出土す。現に濰縣の青州府衙門に在り。大魏正光六年は北魏の年號にして梁武帝の普通六年に當る。我が繼體天皇の第二十一年なり。余北京に在る日、友人勝山岳陽此の像を拓せしめて一本を我が京都大學に納め更に一本を以て余に付す……（大正七年八月七日帚川有賀長雄）尙大佛像記をしるせば

大魏正光六年歲次乙巳四月乙亥朔十九日癸巳淸信士佛弟子賈智淵妻張寶珠等並爲七世父母歷劫諸師兄弟姊妹所親眷屬香火同邑常與佛會願令一切衆生普同斯福願弟子等生々世々値佛聞法永離衆苦乃至成佛心无退轉

よろづのものみなもとは一

松下吉衛

S。あなたの『レヴォリューショニストと托鉢者の話』を讀んで、考へさせられました。

K。どういふ意味で？

S。別にどういふわけでもありませんが、問題が問題だけに――此間それに×××××の××××に對して××××的なあんな大騷ぎがあつたでせう。神經にピリッときたんです。全くのんきにしてゐては、すまないと思ひました。

K。御存知のF兄が先月あちらから歸つて來られたでせう私等の××も少しは××××してくると思ひます、個人的の接觸ですが、此頃私は×××の××さんたちと可なりな了解はしあつてゐますし…………

S。×××の××さんといへば、×××の時、東京からいたゞいた私と××さん宛のあの報告ですね。私はある××が豫感されたものですから、××さんには××だけおまはししたのです。

K。さうでしたか。どうも輕はづみでいけませんね。ほんとに、すみませんでした。

S。こんどの×××の會には是非行かして貰ひませう。

K。×××といへばAさんから、先達こんなおたよりをいたゞきました。私が此頃の氣持を書いてあげたら、御返事にくださつたのです。

『…………あの一枚の御手紙は×××の行動指針として貰いものだとつくぐ思ひました。然し私の性癖とも申すべき「理窟附ける」ここには、まだ大なる未練を持つてゐますので、それだけにまた此頃の私をしみぐと考へさせるのでした。…………

今日は夕方歸宅しますと、机の上にあの御手紙と×市の×からのと、而も共に私に對する多大な糧をいたゞいて大變うれしく思ひました。×からは、マルクス資本論第一卷の序文に引用されてあるダンテの「只汝の道を歩め、而して他人の評するに任せよ。」といふ言葉で激勵し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てよこしました。今更の様に爲すべき仕事の大きさ、、、を思ふのです。…………』

S。Aさんて、ずゐぶん、頭のよい方ですね。いつかお招ぎして『經濟史』の話をしていたゞいた時、さう思ひました。まだお若いのでせう。

K。やつこ三十ぐらゐなものですか、私より三ッ四ッは確かに少い筈です。學徒らしい學徒こいふのは、Aさんのやうな方をいふのでせう。鋭い洞察力、山上の湖水を想はすやうなすみ切つた理性…………あれでゐて、また、藝術家的情熱にも乏しくないのですからね。ほんこに稀な方です。…………この間お訪ねしたこきは、自作の塑像を見せられました。Aさんの理想の學徒の顔なのださうです。何でも小一年も前に友達に賴まれたのが漸く出來あがつたのだこかいつて、毎晩やすむ前に一時間あまりも眺めるのですつて。それでもまだをしくつてその友達には渡せないつて言つてましたつけ。

S。おもしろい生活の半面をおもちなんですね。

K。思想は、また、私達よりズーッこラデイカルなこころがあるやうですよ。

S。Aさんが×××の行動指針こして貴いものだこ言つてゐるあなたの御手紙の要旨はごういふのでした?

K。バクーニンの或る著書に『行ひによる宣傳』(Propaganda by the deed)こいふことばがあるこいつて、敎へてくれた人の話が、ふこ胸に浮んだものですから、×××の一員こしての自分の氣持を、このことばを引いて申したんでした。攻究は思想を明確にし信念を强固にする上になくてならないものであることは言ふまでもありませんが、今、問題は可なり差し迫つてきてをり、禍根が何處にあるのかもハッキリわかつてゐる筈であり、しなければならないことも、從つて見當がついてゐるのですから、もう×××こしてもそろ〳〵××に轉一歩して×××に××××早すぎはしまいこいふ意味のことを書いてあげたのでした。

S。ほんこうに、私達のことは行ひにまで具體化しないでは問題になりませんね。自稱思想家は思想の自慰で滿足してゐるようこも…………

K。×××にTさんこいふ方もをりますが、この方もめづらしい人でして、第一位の幸福こ次位の幸福こ、ごちらを選んでも差支ない場合にでも、次位の幸福を採るこいつたやうな謙虚さを生れつき具へてゐるのです。×××

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

を worth dying（いのちをかける値打のある）のものに育て上げなくてはと常に言はれてゐるのはこの方ですよ。

S。『ヂースダイイング』！い丶ことばですね。『ヂースダイイング』の仕事さへあればい丶わけなんですね。でもほんとうに『ヂース　ダイイング』の仕事を見出だし得たものが幾人ゐませう？

　こころよく
　我にはたらく仕事あれ
　それを仕遂げて死なむと思ふ

こんな歌が啄木のにあつたと覺えてゐますが、全く仕事は選ばなくちや。お互がしんけんに仕事を選べば、問題はそれだけであらまし片附くわけでもありますね。

K。仕事を選ばうにもその餘裕すら與へられない餘り多くの人達が居るので、問題はや丶こしいのでせう。

S。さういふ人達のことを考へると、選ぶ自由を惠まれてゐるだけでも感謝しなければなりませんね。

K。選ぶ自由を惠まれてゐるものが、もし我執のために選びそこなつたら、それこそばちがあたりませう。

S。動機は可なり純でも知見の乏しいことから誤まられてゐる人も少くありますまい。

K。全くです。その意味で私は知識を十分尊重したいと思ひます。それで×××から出したパンフレット『時代の直視は何を教ふる？』の表紙にも『人が何をなすべきかは、その生活してゐる時代と社會とをあるがま丶に知ることによつて正しく具體化される。』と書かせてもらつたのでした。

S。その人の性格も仕事を選ぶ上には、ずゐぶん、影響しませうね。

K。それはさうでせうとも。仕事を選ぶ上ばかりでなく、同じ仕事の扱へぶりにまで性格はでるものでせうよ。……少し長いのですがね、これはつい二三日前Gさんといふ私の畏友からいたゞいた手紙ですが、今の問題に觸れてゐておもしろいと思ひます。

　Gさんは、にほんじろんぢやでして、なれないと讀みずらいから、私が譯讀しませう。

『お心のこもつたお手紙をありがたう御座いました。Tさんの社會問題に對するお考は、詳しいことは、まだまだ私にはとてもわかりませんが、先日お出でになりました時に、私がうかゞつた二つのお話をありのま丶に認めまして御參考に供します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

住吉の川の堤を歩きながらTさんと私との話

私「Tさん、腫物が出來た時に切開して中の膿をえぐり出して治療するといふやり方は、ゆるされることでせうか？」

T「わしの知つて居る人にHさんといふマッサージの先生があるが、その人は腫物を決して切るなといはれる。切れば反つて直りが遲い、痕が傷になつて完全に直らぬ。それよりは心身を正しく持つやうにして營養分を與へて内部からの抵抗力を養ふと膿は自然に排出されてしまふ。人間の體は本來その位のものが自然に排出できない様な弱い者ではない、といつて居られる。」

私「それでも若しその病人が、とても膿を自然に排出することが出來ないくらゐに弱つて居たとしたらどうでせう？」

T「Hさんの息子さんが或る時ようを患つた。先生は例の調子で放つて置かれた。ところが益々容態が悪くなつて來たので、奥さんが先生に（あなたのやうに切開もさせないで此のまゝ放つて置いて若しこの兒が死んだらどうしますか？）と詰問されたら、先生は自分は之が一番病氣を治すのに正しい方法であるといふことを信ずる。それだから若しこのまゝ死んでもそれは壽命だと諦める。眞理について死ぬ時にはこの兒は死んでも生きて居る。）といはれたさうです。そしてそのお兒は間もなく全快したさうです。私もそれを信ずる。それは最後の最後の處へ行くとメスを振はねばならぬ時があるかも知れない、しかしそれは萬遺漏のないやうに病源を見極めて大確信を持つての上でなければならぬ。ひよつとして切り違ひでもしたら大變だからな。そしてそれはまたそれをやり得る性格の人にしてやり得るので、私は性格としてどうしてもメスは振へさうにない。」

次は賀川さんが訪ねて下さつた明くる朝、番町のYさんのお家の土間で、今朝はこちらから賀川さんをお訪ねする出がけにTさんは上りかまちに腰かけて、私は土間にしやがんでの話。

私「Tさんは勞働運動に反對はなさらないんでせう？」

T「勿論、反對はしません。しかしみんな夫々持場々々があるのだからI園がすぐに今の勞働運動と一緒にな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

つてやるわけにはゆかぬ。一つの軀で一時に色々な形を兼ね備へやうとしても其れは無理だ。私達が同じ勞働運動でもSさんよりはKさんにより多く共鳴させられるのは、後者により深い祈りがあるからだ。

今の資本主義の社會よりは、社會主義、共産主義の社會の方が善いかも知れない、然しそれは比較的善いといふ程度だ。私達は飽くまで絶對善を目ざして進まなければならない。その時に比較善も亦聖められて絶對善に近くなつて來るのだ。比較善の實現に努めぬからといつて非難されても攻撃されても其れは私には止むを得ぬ。私は眞理に生きなければならないのだから。」

隨分、私の到らない爲に聞き違ひや聞き洩しがあるかも知れませんが、私はこのやうに聞かせて頂きました。それから私も色々と練らせて頂きましたが、私の愚考を申述べますれば、

維摩經に「若し大戰陣あれば之を立つるに等力を以てし菩薩威勢を現じて降服して和安ならしむ。」とありますやうに、資本主義が暴力を振ふ以上は、善いと云つても惡いと云つても、之に對抗する等力として社會主義共産主義が擡頭して來ると考へます。しかしこの二つの力が相抗爭するだけでは結局するに人類の滅亡になつて仕舞ひはせぬでせうか？惡に對しては等力として必然的に之に對抗する力が起つて來ますが、其の時に菩薩が出現して愛といふ絶對善の威力を以て一切を降服して眞に平和の世界を現出する、茲で初めて世界の永遠の救濟があるのでは御座いませんでせうか？そしてその菩薩の役目を果せるまでに進みたいと願ふ處にI園の祈りがあるのではないでせうか？

勞働運動は資本主義に對する一の等力として現れたもので、之を以て絶對的のものとは言ひ得ないのではありますまいか？しかし絶對的のものではなくても資本主義がある以上は等力として必然的に之が起つて來るのですから、之を最も害少く効多く絶對的のものに近からしむるやうに聖めて行く祈りを持つ處に、現代に於けるI園の存在理由があるのではなからうかと愚考いたしますが如何なものでございますか？

そこで問題になるのは次の二點だと存じます。

第一は、社會主義が資本主義よりも比較善であつて等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

力として必然的に起るものならば、之を絶對善にまで聖める爲めにはI園は今の托鉢の形式のまゝでよいかどうか？

第二は、純粋のI園の生活はやり切れないが、さりとて又もとの資本主義の中へ妥協することも出來ぬ。即ち絶對善もやり切れぬが（勿論、今のI園生活が完全に絶對善を體現して居るとは云ひませんが、少くともさうありたいと云ふ祈りを持つて居るとは云へやうと思ひます。）しかし惡に妥協するわけにも行かぬ。然らば比較善に如何なる方向を取つて向つて行つたらばよいか？

第一について私が「現世を天國にまで淨化する爲めに今の普通の托鉢の形式よりも、もつと積極的に祈り度い心持が起つた時にはどう云ふ形をとればよいのでせうか？」とうかゞつた時に、Tさんは「自分の信ずる所によれば、最も積極的な形は六萬行願である。六萬行願に由つて出來るだけ廣い範圍にこの生活を觸れて行くことである。言葉を換へて言へば端的にお光の種子を撒いて歩くことである。」と仰しあいました。

第二は、信薄き私の此頃の問題であり、その爲に日夜苦しみもがいて居るのであることを告白いたしますが、私の理性はなほはつきりと私に親鸞聖人が「念佛者は無礙の一道なり。そのいはれいかんとならば、信心の行者には、天神地祇も敬伏し、魔界外道も障礙することなし。罪惡も業報も感ずることあたはず、諸善もおよぶことなきゆゑに云々」と仰せられた言葉をとつて「托鉢者は無礙の一道」と叫びます。此の生活をして居て比較善を考へることは既に墮落だと說きます。惡がはびこる時に之に對抗する等力が起らないのならば、等力となることは勿論必要なことでせう。しかしそれは必然的に起るものであつて、惡に由つて呼び起された等力にはまた惡の種子がひそむ。言葉を換へて云へば、惡を制するに惡を以てすれば、やはり惡が殘るとしたならば、この等力となることも隨分考へものだと思ひます。

私は歴史をちよつとも知りませんから、詳しいことは云へませんが、どんな革命でもその革命が惡に對する等力として起つた時には、確に誰が見ても正しいものに違ひなかつたのだと思ひます。それだから舊い權力を征服し得たのだと思ひます。しかし前の惡が無くなつて仕舞ふと、それ自身の內に惡の種子を藏して居た等力そのものが惡化して來ます。フランス革命は「愛と自由」をモ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ツトーとして成就されたのだと云ふことを聞きました。
しかし今のドイツに對するフランスの態度に何處に愛があるでせうか？何處に自由があるでせうか？たゞそこには等力の最も惡い部分の復讐的慘忍より他に何物をも見出すことが出來ないではありませんか？私は何が故にさうなるかを知りません。しかし歴史は無數の等力的革命を經て來た人類社會が益々害惡に充ち人類の幸福の爲めに創り出された凡ての科學的進歩が寧ろ人類を悲慘な境遇に陷れる穽になつてゐる事實を示して居ります。

私は今のロシア革命に對して滿腔の同情を持ち、その完全な成就を熱禱する者でありますが、それが單に等力的革命として終る時には百年二百年の後に於いて第二のフランス革命たるの轍を踏むのではあるまいかと云ふ事を虞れます。かう考へて來ますと、禪家に「好事も無きに如かず」と云ふ言葉があるやうですが、眞劍な托鉢に由つて善惡をも超越した無礙の一道を歩く時に、初めて無善無惡の法術自然の境地を開くことを得て、これ程尊い道は無いと思ひますが、扨て自分がそれを歩み切れるかどうかと自を省る時に、私ははたと行き詰ります。精進して精進して、其れでもやり切れ無くなつた時に私は何處へ逸脱すべきか？それは勿論資本主義の方であつてはならぬ。少くとも現在は惡に對して起つて居る等力の方であり度い、そして幾らかでもその内にひそんで居る惡の種子を滅じて行き度い。しかしその場合にも兎も角も惡のある中へ入るのだから解脱上人が盜賊の中へ入つて捕はれた時に盜賊と一緒に首をはねられたと云ふあれだけの覺悟はなくてはならぬと思ひます。それですから勿論組織惡改造に對する祈りとしてI園者の採るべき道はこれであると云つたら云ひ過ぎではあるまいかと思ひます。

飽くまで托鉢の一行を持して行く根本祈禱の人を拜んで、一歩下つて等力を聖化する方面に行かせて頂くと云ふ氣持で私はありたいと思ひます。………』

S。まじめな方がI園にはゐるんですね。かういふ方がゐるかぎり、世間からごんな誤解を受け惡評を浴びせられやうと大丈夫でせう。

K。Gさんのやうな方はさう澤山ゐるわけではありません

S。かういふ方がそろつて、ひきしめ〳〵六萬行願を結成していつたら何かゞ產まれずにはゐますまい。賴もしいことです。これはあらゆる批評に堪へる――恐らく人間

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

にゆるされてをるもつとも聖い生活様式でせうから。しかし誰にでも強ひることの出來る性質のものではありますまい。これが行じきれるのは、ほんとうに選ばれたものだけでせう。修行として一定の期間やらせてもらふのなら、誰にとつてもよろこばしいことに相違ありますまいが。

K。それはさうでせう。

S。それから——門外漢のくせに不躾な口のきゝやうをしてすみませんが、——間違つてゐたら御免なさい——私に托鉢の體驗がない爲めでせうか、今のお手紙の行間を流れてゐる思想に著しく非現實的な色彩があるやうに思へて、その點は同感しかねます。

K。といふのは?

S。例へばですね、資本主義といふ悪に對してその等力として必然的に之に對抗する社會主義が起つて來るが、この二つの力が相抗爭するだけでは結局人類は滅亡してしまふ。こゝに菩薩が現れ愛といふ絶對善の威力をもつて一切を降服して初めて眞の平和が將來されると云ふ考へ方や、托鉢こそ無礙の一道であるから、之を行じながら比較善に過ぎない勞働運動などを考へることは既に墮落である、勞働運動が悪に由つて呼び起された等力なる限りこの中にはきつと悪がひそんでゐるといふ見方などは私達からすると、あまりに現實からかけ離れてゐる理想主義者の冥想のやうな氣がします。又、今のフランスのドイツに對する態度によつてフランス革命を値打ちづけようとする言葉づかひがあつたやうですが、考へ方が少しラフすぎはしないでせうか?本願寺の現狀で親鸞上人をはかることは穩當ではありますまいもの。それから、最後のところ、「あくまで托鉢の一行を持して行く根本祈禱の人を拜んで、一歩下つて等力を聖化する方面に行かせて頂く氣持」といふのが、また私には無條件では受け容れられません。根本祈禱の人を等力聖化の人の上位に無批判に据えようとするのはどういふものでせう。なるほど、あらはれからいふと、根本祈禱は虔しやかで淨く神々しくさへありませうが、等力聖化の方になると、本質上、如何に强要されゝばとて搾取者に下着まで與へるといふ忍從を示すわけにいきますまいから、やゝもすれば、かたちに囚はれて前者を尊いとし後者を第二義扱へにしようとする傾きが人の心には起きがちなものですが私から見ると、寧ろ等力聖化の方が餘程むづかしい業で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

練達の士にして初めて能くすることが出來るのではあるまいかと思はれるくらゐです。この兩者は、ですから、値打ちに上下があるのでなく、役割のちがひと見る方がほんとうではありますまいか？

K。根本祈禱にかゝつてゐる人が、それを續けにくゝなる――少くとも無理を感じてくるのに、大體、二つの場合があるやうに考へられます。信念退轉の結果によるものはこゝでは問題外として、一つは『俗諦に在つて俗諦を成就する願』を發して家庭もつくり世間なみの職業に從事する場合で、も一つは焦眉の急を告げてゐる社會苦に否應なく引つぱられてそれに祈りを集中する場合です。今はこの二つの形とも社會的に最も必要な祈りで、信不退でさへあるなら、根本祈禱と位の上下はない筈でせう、あなたの御意見の通り。形だけが根本祈禱になつてゐてもダレてゐた日には醜いものですし、それに、人間ですもの、選ばれた人の外は、さう緊張し通しに緊張してゐることも出來ませんでせうから。

S。何にでも似而非なるものは附き纏ひますから、一概にはいはれませんが、社會運動者にだつて、私達の知つてゐる範圍でも、宗教的情操を豐かに具へた人が可なりありますものね、根本祈禱にこもるか社會運動に立つかはその人の性格環境教養等で決定される事柄ではないでせうか？それは、燃えてゐるといふ點からいへば、祈りの對象がハッキリしてゐるだけに、社會運動者の方が寧ろ上だかも知れません。

K。さういふ道理でもありますね。

S。絶對善についての考も私には了解されません。資本主義が惡でその等力として現はれた比較善が社會主義で、この二つの力が相抗爭するだけでは結局人類は滅亡する外なく、菩薩が現れて絶對善の威力を振つて初めて眞の平和が持ち來たされるといふ見方は、理想主義者の冥想としては面白いかも知れませんが、私達の生活に觸れた事實問題として取扱ふときに、絶對善の威力を振ふ菩薩の任に堪へ得る何人があるでせう？一體、絶對善と適當に呼ぶことの出來る行が人間に爲し得ませうか？それは端的には紫雲たなびくとでも形容したい靈的體驗を味ふ人はあるでせうが、かういふ個人的な心靈上の事柄と社會の組織制度の問題とを一樣に取扱ふのは當を得てゐますまい。社會組織といふものゝ本質を考へれば、これは比較善であつても何でも仕方がない、社會運動によつて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

改造される外ないといふトルーイズムがどうしてわかつてもらへないのでせう？

K。私心がはたらかないやうに充分用意して懸命にいのれば、その人〳〵の本務とか使命とかいふものはキット啓示されるのではありますまいか。客觀的には、たとひ、比較善に見えやうと、この本務なり使命なりと信ぜられることをやつていくのが、その人〳〵にとつての最善のやうな氣がします。安きを偸むといふ意味に誤られるこいけませんが、無理すると器が保ちません、一升袋は一升袋として五合袋は五合袋として各その分に應じた務を精一パイすればよいわけでせう。一升袋は五合袋の二倍はいるから値打も二倍だといふわけのものではないと思ひます。五合袋には五合袋獨自の値打があり、一升袋だけでは間に合はぬ場合がありますもの。適當の位地につければ何にでも存在理由はないことはないでせう。あんまりきめすぎると人間智のはからひが交つていけないやうですね。

S。理想は理想として飽くまで徹底を期したいが、すぐその理想をもつて來て人間を計らうとするのは不賛成です實際問題の場合には、さながらな人間を直視してそこから發足しなくてはうそだと思ひます。精かぎり根かぎりやる外、それ以上もう人間としては仕方がないのではありますまいか。人事を盡してゐる事實さへあれば、それが絶對善に叶つてゐやうがゐまいが、その人にとつては問題でないと信じます。

K。このごろ有島さんと倉田さんとが勞働運動について論戰なさつてゐるさうですが、あなたは御存知ですか？

S。エヽ、『靜思』も『泉』も『轉身』も、みんな讀んで見ました。

K。相變らず御勉强ですね。一體どういふのです？

S。率直に申しますと、有島さんの現實に即した而かも妥協をゆるさないごつしりした歩みぶりには、この人ならではといふ敬意さへおきましたが、倉田さんの『勞働運動の道徳的根據について』を讀んだ時には理窟ぬきに隨分ひどいことをいふ人だと思ひました。自分の生活態度にギリシヤ主義を多分に採り容れてゐながら、勞働運動者のパンの得方を律するのにクリスト敎主義のぎり〳〵のこころを以てする心が私にはわかりません。勞働運動が何を對象として起されてゐるかゞ正しく理解されゝばあんな論調にはならない筈です。『轉身』中にある、有島

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

さんの批評に對して答へた文にも、勞働問題の合理的解決法は一燈園の如きものとなる事を信じないではゐられない、といふ意味のことが繰り返し述べられてありますが、あなたとの關係で一燈園生活の內容について相當な理解をもつてゐると自信してゐる私でも、この言葉をそのまゝ受け容れるわけにはいきません。『一燈園の如きもの』といふのは、つまり、人天の供養に生きる生活といふ意味だと思ひますが、これが人間として許される最も無難な最も虔しい又最も淨くさへある生活樣式だといふことに異存のある人は恐らくないでせうけれど、勞働運動が目指して改造のメスを振はんとしてゐる社會組織といふものが如何にして生じ何物によつて支持されてゐるかを考へるなら、所謂の『合理的解決法』の當然占めるべき地位がおのづからハッキリしませう。

　これを人體にたとへれば、人天の供養に生きることを願としてゐる一燈園生活は、攝生法に叶つた正しい生活といへるでせう、又、社會の組織惡は、近世病理學の發見として、どうしても外科的手術によらなければ病毒が全身に禍して一命にさへかゝはる極めて惡性の腫物だといふことがいへると思ひますがどうでせう？

K。私の見るところでは、一燈園は修行所、門であるといふ氣がします。こゝで執着を捨てる修行を積み、菩提心によつて養はれる生活の實證を學ばせて貰つて、それからは、その人〳〵に個性やら敎養やら境遇やら乃至時代の要求やらを考察して、何なり一番ふさはしい仕事を選んで之に身を委ね、一燈園の精神をその仕事に出來るだけ生かすやうにする、同人の合言葉でいへば宣光社としてたつていく、それで差支ないのだと考へます、勿論、一燈園は今日では一種の敎團のやうにおのづとなつて來てゐますから、當番とか評席とか托鉢修行者の世話をする人もゐなければならず、又、托鉢（六萬行願）を生涯の使命としてゐる人もゐることでしようから、さういふ人達はそれなりでまたよい筈です。

　それから、宣光社の組織經營ですが、これについては種々の意見があり細目に亘つてまで打合せを了してゐませんが、私としては集團的な組織にして經營の根本方針をコンミューニスティックにしてはどうかといふ考をもつてゐます。

　又、宣光社の一つの特殊なあらはれ――社會苦の禍根をなしてゐる組織惡の斷滅に對つての集中的組織的いの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りを特に光化運動の名で呼びたいと私は思つてゐます。これは懺悔奉仕の精神を勞働運動に生かさうとする同志の企てと見做してよいでせう。

S。その方の運動は餘程もうお進みですか?

K。なか〱。宣光社すらまだよく具體化の運びにいつてゐないくらゐですもの、光化運動は目鼻もついてゐませんよ。可なりしんけんになつてきてゐるつれがないことはありませんが、しかし人が少なすぎましてね………×××の××さんの×××學士級の人が××××××××××××さうですが、ほんとうに××××××ものは、××さん××さんだけぢや全く心細くなります。×××關係にしたつて、××で××さん××さん、××で××さん××さん××さん、それに××の××さん××さんまあこんなものでせうか。一時の感激から、或は時流に投ずるといふ意味での參加者なら、求めて得られないことはありません。現に××だけでも名簿上に××人を數へられますもの。今はしかし×××××××××時期ではありますまい。何物の試練にも堪へる堅い信念と××に對する×××××情熱を持ちながら×××××××××××行く×××××××××人が何よりも要求されてゐるのでせう。殊に×××××××××考へあはせるとこの感を深くします。婆娑に用のなくなつた餘り老齡でない人がほしいのですね、男でも女でも。この運動には年齡といふことをつく〲思はされますよ。年齡つて大したものですね。それに、女でなければならないこともありませう、しつかりした方をと思つて見てゐるにはゐますが………ローザ・ルクセンブルグはなか〱出來合ひにはなさゝうですよ!

S。ローザ・ルクセンブルグ　イズ　ボーン、エンド　ナツト　メード、ですかね。

K。今更、逆もどりして英雄崇拜論を提唱するつもりではありませんが、×××勞働運動の××は分を知る有識者——その人がどういふ階級の出身であらうと、その協力と助言とを要するものが多くあるやうに思ひます。日本人の通弊でもあるのでせう、團體的行動の訓練つたら丸つきりないも同然ですし、私達のはたらきかけさせてもらふ餘地はまだいくらでもあるやうです。××のYさんも最近××工になつて×××に入會したとかいつてました。

S。Yさんがですか。Yさんなら大丈夫だ。あゝした體驗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

こ底力こをお持ちなんですから、キットやりぬいてくださいませう。…………少し健康を害されてゐるやうにごなたかゝらうかゞひましたが…… ……

K。ついこの間×××の集りでお目にかゝりましたが、もう大抵よろしいやうです。

S。それはようござんした。體は大事にしあひませんではね……………。それはさうこ、光化運動にはあまり贊同なさらない同人もおありでせう？第三者から見てそんな氣がします。

K。そのやうです。中には異端扱へさへする方がありますよ、さう澤山ではありませんが。

S。異端扱へは少しひごすぎますね。ごういふのでせう？

K。托鉢の修行所、不二光生活の門こいふ意味での一燈園は、生死を越え無上道を成ぜんこする誓願に立つてゐる筈ですから、特に社會問題に祈りをこめるこいふわけには固よりいきますまい。ですから一燈園は資本家に與するか勞働者に與するかこ問はれても、答へるべき限りではないでせう。若し强ひて求められたら、眞理に與するこでも答へる外ないこ思ひます。この意味での一燈園は『眞諦からする俗諦成就』の願に立つてゐるこいへませうが、も一つ光澤けしにした『俗諦に沒入しての俗諦成就』の祈りの形があつてよいでせう。これがつまり宣光社です。宣光社は世間なみの仕事を世間なみの形でやつて而もそれに囚はれずに或る尊いものを生かしていかうこいふ不即不離の行願をもつたものこいふこごができませう一燈園で修行を積んで使命を宣光社に見出だされた方は之れに係つて差支ありますまい。宣光社では商賣さへ出來ることになつてゐます。現在のやうな經濟組織の下で商賣を商賣こして立てるためには、ずゐぶん極端なまねまで――それはそのことだけを切り離して考へれば到底良心をもつた者に受け容れられやう筈のないことまで、否應なくしなければなりません。良心はおろか、嚴正に批判すれば、少しでも法律に觸れないで今日ごの商賣がやつていけるでせう。商事的宣光社の規範に『侵さず侵されず。』こいふ申合せがあるんですが、『侵さず』の方はまあ問題でないこしても、經濟的に見れば殆んご無政府に等しい此の切捨御免の戰國の代に處して『侵されない』ためには、つゝましく守勢だけこつてゐたのでは到底いけますまい。よほご攻勢にでゝ初めて現狀維持が漸く出來るこいふものでせう。この身構への氣持わるさつたら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ありません。…………あなたですら、いつか大層おこぼしでしたね。

S。全くです。やりきれないと思ふことが時々ありますよ。

K。こんな反社會性、反人間性を帶びた商賣さへ、宣光社でやつてやれないことがないとすれば、時代錯誤の社會組織を社會的正義に合致させやうとして産みの苦しみに惱んでゐる勞働運動に參加することは、宣光社の一つのあらはれとして許されないでせうか？これを異端よばゝりするなら、商事的宣光社も成立しないことになりませう。一燈園と宣光社とをごつちやにするところから、さうでなければ社會問題に對する無理解から、いろ〳〵な非難がおきてくるのではあるまいかと思はれます。

S。なるほど。…………一燈園には自分だけの惱みで來てゐる方が多いのではありませんか？

K。さうかも知れません。

S。さういふ方達には光化運動はひゞきますまい。

K。個人的の惱みだつて徹底的に解かうとすれば社會が問題になつてこなければならない道理だし、社會と個人とは普通考へられてゐるやうな對立したものではないのでせうから、自分一個の問題が解けない内は、社會のことにかゝはるのは間違ひであるとか僭越であるとか言ひきれまいと思ひます。事實、社會のことにかゝはつて反つて自分の惱みがをさまつたといふ例も隨分ありますもの悟りきつてからでなければ社會のことには一切手出しが出來ないと云ふのなら、さういふ資格の者が何人あるでせう？社會といふものゝ中に、個人は必然的に含まれてゐるのではありませんか？一體、個人の境界線なんて何を標準にどうひいたらよいのでせう？

S。ほんとうですね。みんな一つなんですね！

K。お互が一つだといふことさへわかれば、問題は解けてしまふのでせうに…………。思ふと、人間なんて簡單なことをむづかしくしては困り合つてゐるのですね。……いゝものをお見せしませう。あなたは、まだ、御覽にならなかつたでせう。

S。なんですか？あゝNさんが書かれたのですね。

『よろづのものみなものは一』

K。いゝでせう。

S。いつもとは、また、別な出來ですね。

K。××であつた×××の記念ですよ。

――一九二三・六・二〇――

光明へ

八田勝三

つい最近まで私は

『何か分らないが自分にはきつと特種の好い天分を賦與されて居る。それを本當に成長させる事が、一切に仕へる道だ。』

と斯う唯直覺的にぼんやりと愚かな概念を抱いて居たが此頃になつて、それは隨分思ひ上つた自惚心で、往々人が陷り易いイリユウジヨンに過ぎない事を、はつきり感じさせられた。そして私の生きてゆく道は、自然法爾の心持から一切他に仕へ切ることだ。總ての下僕となりきれる時、私も成長する。たとへ一人の隣人と雖も同じ時代に住んで居る以上、自分を主に考へる事は、自らを忘れた態度で、その酬ひは精神的死に値ひする。幼子に對して、無智の人に對して、はた心の平靜を失つた精神病者に對しても、自分の方がより好尙な人間だと、無意識の裡に感ずる丈けでも、仕へんとする心持には矛盾せるもので、懺悔心は冒瀆される。但し仕ふるといふ形に囚はれて下座らしく見える仕事をのみ選ぶ謂ぢやない。

『朕は國家の公僕なり。』

と云つた國王の心事を肯定しての心持だ。唯、上座らしく見える所に居て、至難らしく思へる仕事に携つてゐる時不知不識、弱い人間の悲しさ、環境に妥協して自ら我儘を許し勝ちなのは、飽くまで恐れねばならない。

○

被造物である限り、私は男性として、前述の道を歩ませて貰ふ外なく、又それ以上與へられないことだ。然し人としての祈りは、兩面よりする男女の懇禱によつて、次第に渾一された境地にまで引き上げられ、より完全な域にまで近づき得るものと信じる。斯樣な心持から女性の立場より我が祈りを助けて下さる方があればと思ひ、若し許さるゝならば、眞のベター、ハーフとして、共に一生を祈り通し度い。だが、此の條件に叶ふ人は、一切他を慈母の愛もて抱かんと望む女性でなければならない。夫のみをより多く愛する人は、我れにかなはざる人だ。總てを抱擁せんとする愛の總和が、夫への最高の贈物であつて、弟子の足を洗つて居た時の基督の心持に、安住せんとせる人の妻だとい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふことに、滿足出來る人でなければ一致點は見出せない。だから一生を人類の盟になつて、あらゆる試みに堪えてゆく覺悟がなければ、我が行く道は苦しいかも知れないと思ふ。

○

本當に被造物の分をはつきり知る時、私達は文字通りの孤獨感に直面する。だがこの寂しさに徹して後、始めて人間は心からお互に赦し合ひ、抱き合へるのだ。

生活苦に藻掻ける人！
血みどろになつてお金の番をせる人！
愛慾の巷にさまよへる人！
死の恐怖に惱める人！
おゝ永劫に流轉せる人生の種々相よ！
何といふいぢらしさだ。

私にはとても人を憎めない。皆寂しさの餘り、色々と胡魔化そうとして居るのだもの。唯赦し合つて欲しい。そこに無限の愛は湧く。

○

愛の名に依つて、人を專有しやうとしてはならない。總てを捧げ得る人のあることは、それ自身が喜びであるべく我が愛が、相手を一番幸福にすると考ふることは、旣に自己の領域を乘り超えて、人の人格を忘れた心持だ。しかし私達は此の過ちを犯し勝ちである。どんな寂しさに襲はれやうとも、一旦我が話しかけた爲に、その人が本道を忘れ心の平靜を失はんとせるを知らば、私達は自ら退いて靜かに祈り得る人でありたい。斯うした愛と涙の裡に、魂は素直な成長を續け、人の世は、一歩一歩醜くさより蟬脫してゆくだらう。

○

自然の靜けさは人に反省の時を與へてくれる。

日本アルプスに十年近く住んで居られる篠原氏が『山へ來るとどんなに仲の惡い夫婦も、仲直りをして歸つて行きますよ。』

と云つて居られたが、一面の眞理を含んで居ると思ふ。

一日海近く山懷に位置した御宅で、御留守居をさせて頂いた。靜思すれば悠久たる天地だ。總てのものは、その儘で調和して居るやうに見える。限りなき流轉を續けて居るのは我心丈けだと思はれた時、人間の少さなはからひが恥かしくなつた。人との交渉にのみ殆んど沒頭して居る此頃、時には自然に抱かれて、自己をふりかへる必要を痛切に感ぜられた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一燈園對同人

中澤貞次

Mさん

……その後天香師には途上でお目にかゝつたり電話で御話しする位でゆつくり御目にはかゝりません。一燈園の對社會態度の進展、有機的結合等の機運も未だ明かには現はれてゐない樣にも思はれますがその邊のことに就きましてはどなたからも伺ひませんから實際はいかゞなのでせうか？先日一寸一燈園に參りました節藤田評席氏に御逢ひしまして此等のことに關して愚見を求められましたが、私は一燈園の本體は矢張不論不畫の生活を祈りとする存在でありたいが、一燈園同人個々の人格が此門を通つて後どんな風に活きて行かうともそれが合理的である以上一燈園からも或は同人相互間にも或は一般社會からも正しく認容さるべきもので、それが一燈園現在の社會的顯現と異つたものであらうともこれによつて一燈園そのものが疑はれることもまたそれ等個々人の行爲が批難さるべきこともない、若し批難さるゝ點がありとすればそれは社會的に合理でないといふ理由からでなければならぬので所謂一燈園式でないからといふ理由からであるべきでないと思ひます。そしていかなる現れも一燈園の本體から出てをるものか或は一燈園に歸結集約し得るものである筈だと思ひます。去り乍ら或社會運動の目的の爲に一燈園を利用するとか進で一燈園の本質を改造して現社會を對象とした即時代に特定した主義主張を行ふものにしやうといふのはどうか知らと思はれます、こんな判り切つたことを賢しげに述べ立てたもので御座います後で冷汗が出るほど恥しく思つてをります。此頃私の考へてをりますことは先づ第一に自身を修めること第二に時代相をよく〳〵觀ること、此時代が人類の歴史にいかなる位置を占めるものか、文化が進んだともいひ人々が頽廢したともいふがそれは人類の過去と將來に對してどの程度のものか何が打破すべき因襲で何が創造すべき文化かどれが腐つた古き物でどれが値ある新しき物かといふことをハッキリ判斷することが必要と思ひます。そんなことは到底わからぬといふ人もありますが自身の程度でわかる丈は勉めなければ仕方がないと思ひます、すると矢張り智識を求めることと頭を養ふことが必要になります。

そしてハッキリ判らない内は或程度迄此社會に順應して生活する外ないので社會には矢張り一つの理法があり夫自身陶汰の機能を持つてをる樣に思へますからまづ大過なく生活し得るわけで我々微小なものが時代の先覺者たる思想的根據もなく實行的に然も力ないものが一寸やそつとの觀察思ひ付感激などで多數とかけはなれたことを言ひ行ふことは愚なこととしか考へられません。

それにつけても天香師などは此到底我々には出來ないことを立派に御やりになるのでそれはどう見ても輝いたもので少しも滑稽にも愚にも思はれませんから只畏敬の外は御座いませぬ。御無沙汰の御詫に筆をとりましてつまらぬことを書いてしまひましたが、あなたの御仕事と一燈園との關係交渉についてあまりよく判つてゐない圏外の方に此手紙の一部分は見ていたゞきたいと思ひますから御都合で御加筆の上光卷尾消息の部にでも御出しくだされば幸と存じます。　（下略）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

神戸より

S生

春の日を一日工場で働く者にとつて唯一の慰めとなつてくれる六甲、摩耶の山々の緑も、もうすつかりと濃くなりました。皆さん、御變りは御座いませんか。

こちらの托鉢も去年の初夏、天香さんが山陰方面へ旅の途次、中山手の直木三郎さんへ招かれて寄せて頂いたのが御縁の始となつて、三上、手塚の兩兄、赤木よし子さん方の努力に由つて開かれましたが、直木さん御一家の眞劍な御祈添へに由りまして、恰も山上に降つた雨が、低きを傳ひ溪谷を辿つて思ひもかけぬあたりにまで流れて行くように、今では多い時は二十人餘り、少い時でも十二三人の托鉢者は屹度居て頂いても、どうしても手が廻り兼ねる位に托鉢先が殖へて參りました。

最初から四五の同人が引續いて托鉢させて頂いて居ります日本燐寸會社では、專務取締役の直木さんや、工場長の西岡さん、井戸邊さん方が、私共よりも先に立つて女工さんが御使ひになる御不淨までも徹底して托鉢して下さいますので、工場内の空氣も非常に變つて、五郎池の新工場では昨夏以來、早起向上會と互敬奉仕會とを全く自發的に職工さん方が中心になつて御始め下さいました。前者は毎朝五時から約一時間工場附近の道路を露地の隅々までも御掃除をして下さいます。今では小、中學校の生徒さん方も御入會下さいまして、二百人餘りの會員が毎朝嬉々として町を美しくする仕事に奉仕して居て下さいます。後者は御家が遠方で朝の會に御出になれない織工さん方が、作業を終つてからの一時間を工場内の御掃除に捧げて居て下さいます。この會員の方々は昨年の暮には當市の公設市場で販賣する七十五石の御餅搗きを、一週間に亘つて殆ど不眠不休で托鉢して下さいました。最後の日に公設市場の方からもう五石だけ搗いて頂き度いと云ふ申出がありましたが、全員全く疲れ切つて居たので、その不可能なことを御返事致しましたら、「何うか今度は御金を幾らでも出しますから曲げて願ひ度い」と先方から押して云はれましたそうです。そうしたら會員の方々が、「金を貰ふ位だつたら、自分達に之だけの努力が出來ると思ふか」とその無理解を泣いて憤慨されたと云ふ話も御座居ます。

本社の在る荒田工場でも昨秋以來矢張り職工さん方に由つてM（エム）托鉢會が開かれまして、四十名程の會員の方が毎日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

作業後約一時間を工場の御掃除に捧げて居て下さいます。工場が正月休の間も、元とは御掃除を嫌ふ御家があるので遠慮した外は、一日も缺かさず態々早朝から御集り下さつて熱心な托鉢を續けて下さいました。凡て是等の會の中では工場内の地位の差別は全く撤廢されまして、各自が純粹に平等の會員となつて托鉢して下さいますので、幼年工の方の掃いて行かれます後を、專務の直木さんや工場長の井戸邊さんが同じ作業服を纏つて塵取りを持つて、埃を集めて行かれる姿は、實に平和な何とも云はれぬ尊い光景だと常々拜ませて頂いて居ります。

私共の樣に今までろくに勞働もした事の無い樣な罪深い體と違ひまして、何しろ幼年から鍛へに錬へた腕を持つて居られますので、此方々の托鉢の能率と徹底味とに由つて私共が何の位引き締められ、教へられ致しますかは殆ど御禮の言葉も無い位で御座います。天香さんも暇ある毎に來て會員の方と御一緒に托鉢して下さいます。

今當地には、この荒田工場へ住田藏人さん、小林恭堂さんが昨年の十一月以來托鉢して居て下さいます。住田さんは盲目の身を以て半日を工場の女工さん方の按摩に、半日を直木さんから御賴みを受けて盲人の方の爲に「懺悔の生活」の點寫本の製作に從つて居て下さいます。春から大塚秀雄さんも御出で下さつて、托鉢の間々に女工さん方に賴まれるまゝに灸點を降して居て下さいます。皆さんが此處では其の持つて居られる獨特の技能を自由に發揮して下さる樣に惠まれて居なさる事を有り難い事だと思ひます。

又同社の御藏工場へは迎さんと、鈴木さんが寄せて頂いて居りまして、鈴木さんは其工場へ働きに來て居られる米田さんと云ふ方の御宅へ泊めて頂いて、半をその御近所に住まわれる多くの貧しい方々の爲に御掃除やら、手紙の代筆やら、籍戸の手續やらをさせて頂いてをります。其處へ中島きく子さんと云ふ整體術の先生が、關さんと云ふ助手の方と御一緒に一週間に二回づゝ來て下さいまして、御困りの方々にマツサージの托鉢をなさつて下います。

燐寸工場では直木さんの御意見で、一燈園を自分の處へ獨占して居ては濟まぬから、出來る丈け廣く諸方へ結緣して頂き度い、そして他處に用の無い時は何時でも工場には用があるから托鉢して欲しいと有り難い御心持で居て下さいます。私共もその御言葉に從つて燐寸工場や直木さんの道場を母艦として、賴まれるまゝに諸方へ托鉢させて頂いてをります。

鐘紡にも南坊城さん、小竹さん、藤岡小春さんが深く祈りを籠めて居て下さいます。

木田英子さん、替場もとめさんもそれぞれ眞劍な托鉢をして居て下さいます。

今春、關西學院の英文科を御卒業になつた、盲エスペランチストとして有名な岩橋武夫さんの處へ四月以來托鉢に寄せて頂いてた矢野きを子さんは、お光の御導きと、天香さんの御仲人とに由つて今度目出度同氏と御結婚なさることになりました。斯う云ふことに出遇ふ毎に、運命の神秘と不可思議とを痛切に感じさせられます。お光がこの聖く結ばれたる二つの魂の上に益々豊に御惠を垂れ給ひ、そしてそれを通して一切の魂をして御心を尙一層あざやかに悟ることが出來ます樣に導き給はんことを、祈つて止みませぬ。

昨夏以來、當地で路頭に立たれました矢田部さんは、御自分の御希望で愈々今度全然園とは離れて行乞されることになりました。

山崎繁藏さん兄妹は御二人連れで眞劍な路頭の生活をして居て下さいます。

小林古陵さんも、永らく御苦勞を願つた京都の當番の御役が濟んだ二月ばかりを奧平野の藤井さんに寄せて頂いて天香さんから頼まれたスケッチの托鉢に、心ゆくばかり春の陽に輝く須磨明石の自然を凝視めて行かれました。

この頃、私共は日曜日の朝六時から新川の賀川さんの御宅で開かれる朝の禮拜に折り〳〵寄せて頂いて居りますので、賀川さん初めイエス團の皆樣ともだん〳〵御近づきにさせて頂きまして、色々と御導を得て居ります。先日も四番町に賀川さんが眞島ドクトルと御一緒に設けて居られますイエス團の施療所の看板を、すぐ御近所に鈴木さんが住んで居る關係から頼まれまして、天香さんに書いて頂きました。此の尊い御仕事に私共が少しでも御役に立ち得ることは、本當に無上の喜びと感謝で御座い居ます御互に御心に由つて與へられたる持場持場に立ちながら、手を取り合ひ、援け合ひ、勵まし合つて進まねばならぬと思ひます。それでなければ人生の行路は、餘りに寂し過ぎるではありませんか。

當地は勞働運動の最も進んだ處だけに、各種の勞働運動や熱烈な水平社の運動に觸れる機會が隨分多くあります。そしてマッチ工場や紡績の女工さん方の工場生活や、三疊敷、四疊敷の汚臭と襤褸と南京蟲との間に、多勢の家族が殆ど想像もつかない程の生活狀態に置かれて居るのを見る時に、現在の社會の組織惡が殆ど强迫的の壓力を以て私達に迫つて參ります。當地に來る托鉢者は、誰も一度は自分は之で善いのであろうか、自分の責は之れで果されて居るであらうかと、己が身を省ずには居られませぬ。年の若い托鉢者は何時の間にか極端なアナーキストになつて飛び出して仕舞はれた樣なこともあります。工場の晝休にふらつと出かけられたまゝ、一週間も何處と云ふ當も無く無茶苦茶に歩き廻つて岡山まで行つて、皆が愈々何處かへ行つて仕舞はれたものと諦めた時分に、飄然と歸つて來られた樣な方もあります。これを唯、惱ましい春の誘惑のせいばかりにすることは出來ないと思ひます。其も之も、餘りに悲慘な現實に直面する時に、一切の惱む苦悶の感と、其に由つて一層深く强められた自己の罪惡感とが、人間の胸の内で火花が出る程に衝つかり合つて、一切を赦して唯自分の罪を詫びると云ふ道は、私共の樣な定力薄き者にとつては餘りに重い十字架と感ずる處から與るのだと云ふことが泌み〴〵思はれます。

天香さんが何時ぞや、自分が落着き度いと願ふ心と、一切に落着いて貰ひ度いと願ふ心とあると云はれましたが、自分が落着き切れぬうちに一切の落着きをも願はずには居られぬ事情にまざまざとぶつかつた者の苦悶でしよう。それは他が其ほどまでに苦しんで居るのを眼の邊り見る時には、自分の僅の落着きさへもが寧ろ罪惡の樣に思はれます。怖ろしいことです。

何卒常に躓き勝ちなる者の上に、皆樣の御祈添へを懇禱致します。さよなら。

（一九二三、五、三一。雨の日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

近詠

侶乘

石山や鋭(ト)くなくにほに花曇
石山やつゝじに遠き仁王門
梅ちるやしめて靜の店障子

上京生家を訪ふ

家こ古る母の心や石蕗の花
つゝましき燈下の膝や蕪汁
牛舍(コヤ)牛舍に人は住み古る枯木哉
しばし居て日の親しさや枯芝生

鹽原行

巖山の枯木ながらや八鹽さく
山吹に左(ヒダリ)靭(ウツボ)を見すぎけり
梅ちるや岩間の奥は溫泉(ユ)もこなる
欄を抽く峯の八鹽や妙雲寺

中禪寺

枯山裾に立木觀音おはしけり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

於鹿沼麻糸工場

牡丹薄日夜勤の工女皆ねつく

このこころつゝじＳ字の花壇哉

しん摘めば折れて淋しやつゝじ枝

花の丘願る寺ありにけり

薪（マキ）割れば桐の花ちるゆくりなく

梅雨の野や工場出てゆくトロ一つ

剪りこれば由々しさせまる牡丹哉

於光勤精舎

行春やあけしまゝなる嘆異抄

乳房叉うつゝに吸ふ兒遠雷す

梅雨入空はるゝや松の一こころ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

砕かれた繪硝子

すゞき　五ろう

犬

ぴつこの　ぽち
めつかちの　熊
癩癇病みの　三郎
産んだ兒を　みんな喰べちまう　白
背中の毛を　半分刈つた　赤肌へ
硫黄華を　塗りつけられた　ぶち
みんな　私を　慕つてくれる
何一つ　やるものも　持たぬ
私の　みんな　御友達、
人の世の　深い業を　お前達も
私と一緒に　泣いてくれるのか

街の月

白い大きな建物
それから　今
私達は　出てきたのだ、
隣りの高い建物との間の
暗い小路に　翼をひそめた夜は
深く息づいて居る、
出口を塞ぐ褐色の塔
その後にも　その後にも
無數の建築物が　ひしめき合つて
居るようだ、
凡ての上を
水に滴した蠟のような月が
ぼんやりと　照して居る、
生活の渦卷が
しづまり切つた
夜十二時

泉

もく　もく…………と
泉が　湧く
ちよろ　ちよろ…………と
溢れた水が　走る
白い　小さい　花が
葉を　流れに　浸して
幽に　搖らぐ
どんなに　小さい

詩の　一片でも
その下には
生活の地下水が
びつくりする程　強く
流れて居る

砕かれた繪硝子

私が
街頭を　歩いて居る時
工場の中で　働いて居る時
夕暮　家へ歸つて
窓ぎわで　ほつと疲れを
休めて居る時
或は　夜の床へ
入ろうと　する時に
不意に　神樣からの
御遺物が　降つて來る、
凡て　果なく　寂しく
陰氣だつたものが
その　御遺物の輝きで
夜があけた樣に　明るくなる、
私は　光に醉つた　向日葵の樣に
悦びに　燃へ立つ
私の心は
歌ひ出さずには居られぬ
衝動を　感じる
おゝ、併し　何と云ふ
惨めな　ことだらう
私が一度　口を開く時に
其處には　粉々に砕かれた
繪硝子の樣な　やくざな
屑かけが　散らばるばかりだ、
私の　貧しい體驗と
乏しい智識と
粗雜な言葉とは
その　輝やかしさと
聖らかさと
素晴しさとを
言ひ現すには
餘りに　貧弱過ぎるのだ、
私は　神樣に
お詫びをする
どうぞ　赦して下さい
それを　知りながら
猶ほ　歌はずには
居られぬ　私の
弱さと　寂しさとを——

（一九二三、六）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宣光社だより

野原生

五月。保太郎さん、河村さん、近頃から野原が詰めさせて頂いて居ます。月の初旬、住田さんが、十字街頭から立寄られて、一週間計りお手傳下され、十一日に、相さん、古川さんがお訪ね下されました。十二日、天香さんが、大阪方面へ御講演に行かれるので、驛まで御見送いたしました。十六日から三四日の間、天香さんが、御病氣で、御尋ね下さる皆さんに、大分お氣を揉ませました。十九日朝、長らく秋田こ、關東地方にお出向きの、保太郎さんが、お歸りになり、引續いて、東京から中桐確太郎さんが、お觀えになり衣ノ棚に御泊になりました。雜誌『光』が、本月は大分遲れたので、印刷所へ問合せたり、電報を打つたりしました處、漸く廿五日に到着しました。東京の八田さん園の立山さんに、御手傳を願つて、直に諸方の方々へ發送いたしました。種々お問合せ下さつた皆さんに、御詫を申上げます。廿七日、天香さんは、大阪の夕日ケ丘女學校、其他へ御講演にお出掛けになり、河村さんがお供しました此間、保太郎さんは、社の執務や、或は留守中いろ〳〵、お心配下さつた方々のお宅へお出掛になり眼ぐるしさうでした。此月、社にお尋ね下さつた方々は、前記の外、稻葉さん、久米さん、啓文さん、海野さん、同お母さん、前田又三さん、おふくさん、ちか子さん、望月さん、戶田さん伊藤さん、中田さん、國米さん、五條署の着月さん、富島さん、外數氏の方々で、御座いました。

六月。例の如く、保太郎さん、河村さんこ、野原が出社して居ます。一日に西川さん、二日に赤木さん、安保さんが、皆巡禮の途上、お訪ね下されました。其日午後、保太郎さんは、大阪方面の御無沙汰申した知人の宅へ、三四日の豫定でお出掛になりました。三日、天香さんは、大阪、御影方面へ講演にお出掛になり、社から野原こ、中川さんがお供しました。五日に、天香さん始め、保太郎さん、外皆さんも、京都にお歸りになりました。十日午前、天香さんが、お觀えになつて、暫くお話があり、同夜、約一週間の御豫定で、東京方面へお出向きになりました。十二日、六月分雜誌『光』が到着したので、立山さん、植松さん、本田さんがお手助下さつて、御講讀の方々へ、發送いたしました。十三日、保太郎さんは、龜山にお出掛になり、一泊お歸りになりました。松下勝郎さんには、時々社の仕事のお手助をお願ひいたしました。此間、お訪ね下されたのは、前記の外、大塚さん、河崎さん、岩田正俊さん、加藤さん、外數氏の方々で御座いました。保太郎さんは、秋田よりお歸後、帳簿の整理や、內外の訪客やらで、大車輪でしたが此頃ほつこせられたやうであります。宣光社も、いろ〳〵仕事が溜つたり、又計畫もあつたりして、ごた〳〵して居ます。皆さんのお祈添お願ひいたして居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◇光讀者芳名錄（一）

東京

麴町區

内幸町一ノ三藤田合名會社
四番町四
富士見町一ノ一三
富士見町一ノ一九佐藤方
麴町五ノ五小田島方
永田町一
代官町舊本丸
社會教育研究會
飯田町四ノ十一
一番町一二莊司方
三番町
丸ノ内東通五號日米協會
東京府社會課
東京府社會課

原眞男
西脇晋
岡田久次郎
渡邊治生
高谷文子
樺山つれ子
國分伊親
江口彦彌
笹原俊雄
三輪田元道
芝閒益吉
岡弘毅
武田眞量

神田區

松枝町一六旭堂本店
駿河臺南甲賀町七廣川方
仲猿樂町一スター商會
通新石町一六二六新報社
新銀町二九高島方
表神保町一〇
カフエーマツンテン
連雀町一二
駿河臺南甲賀町九
黑門町一五
表神保町
表神保町丸善支店内
駿河臺南甲賀町一四
駿河臺鈴木町一三
錦町一ノ一二今文内
東紅梅町三

伊藤商店
林正次
遠水小不二
大坪草二郎
田中市藏
小田島信一郎
村木喜助
山本一平
安田良忍
東京堂
佐藤誠次郎
佐々木梨喜子
薩摩三郎助
森紀
米田喜雨之助

日本橋區

橫山町二ノ一
橘町四丸見屋店内
蠣殼町二ノ二四三笠寫眞店
橫山町一ノ二長郷方
吳服町一八中原方

西田久夫
堀田文右衞門
吉川富三
高野茂吉
中山勝治

京橋區

本材木町北村胃腸病院
小舟町三ノ五
本[illegible]町三三越内
三代町二六
馬喰町一ノ一

村山浩一
矢島伊一郎
至誠堂
阪根謙吉
宮本省一

竹川町四
築地海軍大學内
木挽町一ノ一一
木挽町三ノ二
新榮町四ノ三山形醫院内
南槇町二

吉倉續
中村勝平
香山恍
湯川誠一
宮内昇
杉本正男

芝區

三田四國町二
三田南寺町三八清久寺
白金猿町六九
櫻田本郷町電車交叉點
二本榎二ノ四一圓福寺
高輪南町三〇
白金三光町三〇五
芝公園六號地協調會

勞働者教育會
磯村鎭太郎
鳥羽瀨萬七
鳥羽文子
山口等樹
佐々木彦太郎
鈴木敬策
田澤義輔

麻布區

笄町二
田島町一八
三河臺町一五
市兵衞町二ノ七九北條方
新堀町四

西伊三次
岡村ゆきの
堤淸太郎
上田儀一
小林俊三

赤坂區

青山北町五ノ二六
青山南町六ノ二
青山北町六ノ五七
青山南町六ノ一〇八
青山高樹町九
青山南町二ノ八
九鬼産業株式會社
青山南町五ノ二
青山南町二ノ四六

藤堂敏子
神取政基
龍居せき
長尾元亨
正木德太郎
齋木幸一郎
杉山常子
村田半之

四谷區

永住町二

野呂元

内藤町一
簞笥町三九
新堀江町二

福原俊丸
小林滋三郎
本吉三郎

牛込區

西五軒町三八
加賀町二ノ一三
新小川町二ノ一〇
早稲田町六五
鶴巻町三七一
若松町一〇二戸山腦病院
本村町
早稲田鶴巻町一九一野呂方

岩佐剩雄
細井修逸
川田ヤマ子
高橋都素
粕谷利三郎
山口大
江口定條
佐藤恒吉

小石川區

雜司ヶ谷水久保一六七
指ヶ谷町三六足立方
小日向臺町三ノ七五
原町一二六備中館内
丸山町一一
丸山町一九
林町五〇
宮下町六〇佐藤方
目白臺女子大學明桂寮
小日向水道町九二
水道端二ノ一九狩野方
小日向臺町一ノ四九
原町一二
雜司ヶ谷
アパートメントハウス
丸山町一九小柴方

伊藤梅吉
飯田治三郎
本間正純
千沼哉
河路寅三
小柴忠七郎
莊田平五郎
山形淸器
古川みれ
安部能成
荒木重久
坂本通
菊田勇吉
三浦ちよ子
志波ます子

本郷區

本郷六ノ三大津旅館内
元町二ノ六六岩田方
駒込千駄木町一七七
春木町二ノ一渡邊方
駒込林町一八二森丘方
駒込上富士前町五
彌生町三ノ仁ノ三鈴木方
元町二ノ六六
追分町帝大基敎青年會内

早川權平
丹羽孝三
井上範
今中淑江
五十里とき
江崎しづ子
來住彌次郎
三增さも
志村二郎

曙町三　湯淺智

下谷區

谷中清水町一　犬養駒太郎
谷中上三崎北町二三　田中寛治
西町三ホ一〇號　柏山振二郎
御徒町二ノ三三　勝淵太郎
入谷町一〇〇　信愛製菓會社　北野雄司

淺草區

今戸町二五　市田照之助
仲北町八　たぬきや　神谷光太郎
松葉町九六　牛田方　谷口雅春
諏訪町一七　牛込はつ子
藏前南元町　修養園本部　佐藤茂
南元町一　平山武雄
淺草公園五區七六　關原りう
藏前南元町　修養園本部　妹尾幸三

本所區

石原町四六　祖父江信一

深川區

富川町三二　和泉文助
扇町二　武市璋子
西森下町四二　小關方　金森乾三郎
東平井町汽庫製造會社內　小竹道雄

府下荏原郡

上大崎長峰　市田彌惣次郎
大森不入斗八四〇　堀龜雄
大森町新井宿一一三二　高橋劉三
北品川二二五　尾崎英子
蒲田町後園町二〇七　中里正俊
目黒日本女子大學新泉寮　內山ちとせ
駒澤村字馬引澤六〇七　野口猛雄
入新井宿美奈見一一〇九　倉田百三
大崎町桐ヶ谷五三　後藤章司
上大崎二三二　小島幸子
大井町倉田三、一七三　宮田章子
代々木大學裏下通　宮崎安右衛門
駒澤村上馬引澤五七九　戸城傳七郎
下目黒五五七　山崎方　小熊英夫

豐多摩郡

中野町東京市療養所　岩本與三次郎
中野高圓寺五五六　石井艷子
戸塚伊勢原八四七　花田大五郎
中澁谷七六一　羽生藤四郎
千駄ヶ谷町原宿一七〇ノ八　井原眞澄
千駄ヶ谷町原宿八四九　今井建彦
野方村東京市療養所　井上芳雄
西大久保三八一　板倉良吉
戸塚町諏訪一三　吉田東馬
中野町中野三三四三　横山良國
野方村東京市療養所　田中喜久
千駄ヶ谷五六二　小柴雪子
中野町小瀧一五二二　中島
淀橋柏木町一五八三石方　中澤琴治
西大久保三七八　鎌田正憲
青梅町九七二　並木包三郎
大久保百人町二九六　武藤留吉
戸塚町下戸塚二九五　倉岡幸吉
西大久保三三　山浦乾太郎
西大久保九四　山中峰太郎
東大久保六〇　薗田方　前田精
上高井戸原　江渡幸三郎
東中野一六六六　安藤文子
目白下落合村四三六　三宅勘一
大久保百人町二八五　三好常三郎
大久保百人町一九　平岡さみ子
東中野　至誠殿
淀橋町角筈七八四　關安太郎
上高井戸原　關村みき
中野町救世軍內　關根關良
千駄ヶ谷三八五　若王子錠子
大久保百人町一三ノ七　池谷昌吉

北豐島郡

西巣鴨町宮仲二二六八　伊藤喜代松
瀧野川町西原八五七　志村方　岩田武司
巣鴨町家庭學校內　錦古里忠次
日暮里芋阪　逸見斧吉
巣鴨町上駒込四〇三　大井令淳
高田町七四三　河盛義夫
日暮里渡邊町一〇四〇　吉江喬松
南千住町三ノ輪三四三　山根方　太田覺定
南千住町通新七六　小野賢一郎
西巣鴨町宮仲二五七四　村山千代子
王子町西ヶ原官舍　山本竹藏
板橋町二三二〇　木暮操吉
西巣鴨町巣鴨二七〇五　二股卓治
高田町水久保一一七　淺岡文德
長崎村大和田二〇一三　阪本秀一
巣鴨町宮下一六二三　志賀勝之助
日暮里町渡邊町大通一〇四　樋口秀雄

南葛飾郡

大島町　林義治
向島寺島町一　吉川方　小西久治郎
金町村柴又　鈴木鶴子
小松川町東小松川　鈴木治孝

北多摩郡

立川村三一一五　岩崎清八
立川村　高橋辰治
東村上村全生病院　栗下信策
池袋一一二五　林卯吉
池袋一二〇一　中村春二
池袋三三九　佐川敏子
田端町五〇六　手塚宏壽

西多摩郡

成木村北小曾木二九七　萩原福藏

豐多摩郡

笹塚町一〇七九　武井方　高荷金之助

南多摩郡

小宮村西中野二〇三五　野島榮一
堺村相原　青木喜二

八王子

市外西中野片倉製絲場內　豐澤菊松

社會思想研究雜誌

基調

第三卷第一號
七月號

一册二十錢
半年一圓十錢
一年二圓

宣言……同人

マルクスのフォイエルバッハ論……久保田明光

唯物史觀とカアル・マルクス……ニコライ・レエニン

解放ノオト……
諾威の左黨運動
チノウイエフ大學

ボグダアノフのプロレタリア詩論……水上鐵治郎

プロレタリア文化論……ルナチヤルスキイ

新刊紹介

編輯餘錄

發行所 東京市外戸塚町諏訪二三一 基調社 振替東京五九八四七

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

正木不如丘創作集第十五版

木賊（トクサ）の秋（アキ）

合判新型四百頁
洋絹表装美本
定價金貳圓
書留送料十八錢

◇初版一萬部は一仲買店のために買收され增版又增版の盛況◇

曩に「診療簿餘白」を著し月餘にして重版又重版四十五版を重ね讀書界の流行兒となれる著者、今又創作三編短編十數篇をなし「木賊の秋」と名づく。即「東京朝日」「東京日々」兩大新聞に連載せられて洛陽の紙價を尙からしめたる「三十前」「行路難」、並に人生の諸相を說ける「肉豆蔻」。加ふるに最長篇「木賊の秋」はみすゞ刈る信濃の佐久大高原の四季を背景とし、病弱の兄美しき妹の生に筆を起し之れに配するにおろく細櫛木曾の奇應丸賣の戀或は蓼科山の木賊刈りを以てす然し木賊刈を怠りし兄、たま〱歸り來る流浪の父、遂に早春山燒の咎は病弱の兄をして村を去らしむるに到る悲劇を語るに到れば初めて著者獨歩の境地。加ふるに珠玉の如き詩情、測人にせまる俳趣、蓋し地上の一大舒情詩。

正木不如丘著 創作集

診療簿餘白

（一名）臍の悲

第三十八版

定價金貳圓
書留金拾八錢

東京日本橋通 振替一六一七

春陽堂

電話番號 本局四二一〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN